CASBEE 新築[簡易版] 評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-新築（簡易版）2008年版 使用評価ソフト：CASBEE-NCb_2008(v.3.1)

1-1 建物概要

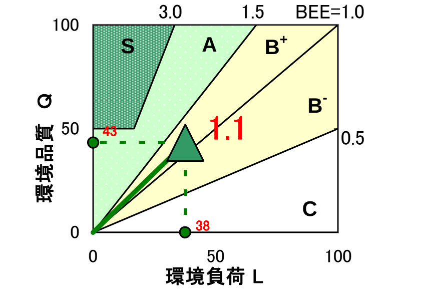
建物名称	大山崎中学校	階数	地上4F
建設地	京都府大山崎町	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、法第22	平均居住人員	500 人
気候区分	地域区分Ⅳ	年間使用時間	2,080 時間/年
建物用途	学校,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2009年12月 予定	評価の実施日	2009年7月31日
敷地面積	27,261 ㎡	作成者	西村
建築面積	2,857 ㎡	確認日	2009年8月5日
延床面積	6,529 ㎡	確認者	西尾

1-2 外観

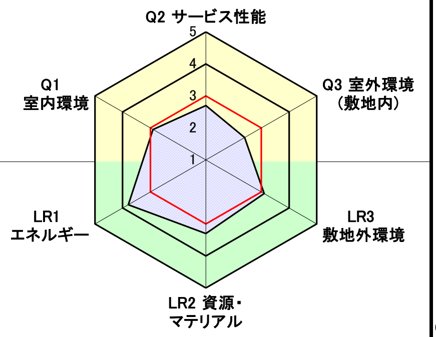
2-1 建築物の環境効率（BEEランク&チャート）

BEE =1.1

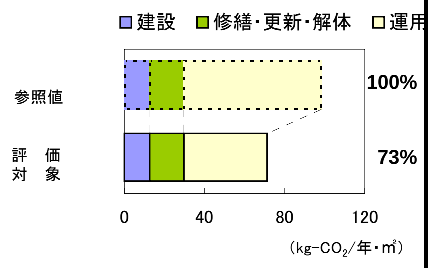
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（レーダーチャート）



2-3 ライフサイクルCO_2（温暖化影響チャート）

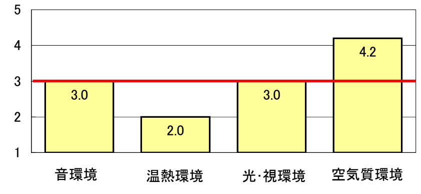


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

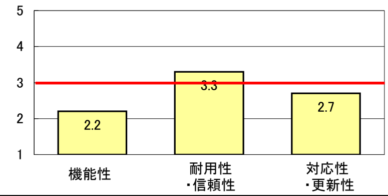
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質 　Q のスコア= 2.7

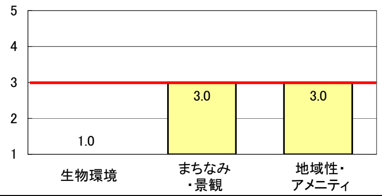
Q1 室内環境 　Q1のスコア= 2.9



Q2 サービス性能 　Q2のスコア= 2.7

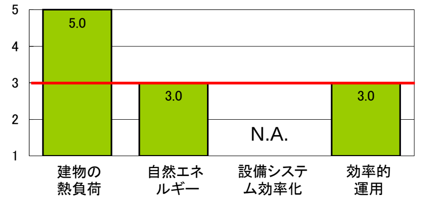


Q3 室外環境（敷地内） 　Q3のスコア= 2.4

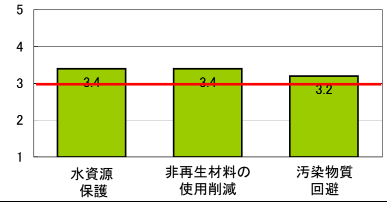


LR 環境負荷低減性 　LR のスコア= 3.4

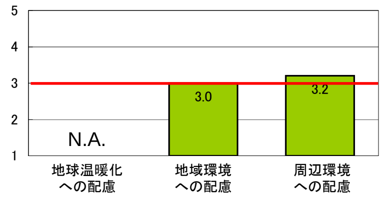
LR1 エネルギー 　LR1のスコア= 3.8



LR2 資源・マテリアル 　LR2のスコア= 3.3



LR3 敷地外環境 　LR3のスコア= 3.1



3 設計上の配慮事項

総合

（１）学習空間の充実　良好な学習環境の確保、バリアフリーを重視した施設計画
（２）環境との調和　周辺環境、地球環境に配慮した安全で親しみのある施設計画
（３）防災の拠点　総合的な耐震安全性を持ち、非常時にも機能を発揮できる安全な施設

その他

Q1 室内環境
シックスクールの防止
良好な学習環境の確保

Q2 サービス性能
バリアフリーを重視した施設計画
将来の間仕切変更に対応できる構造形式
耐震安全性の確保

Q3 室外環境（敷地内）
緑化による環境づくり
景観に寄与する外観デザイン
地域住民の利用を考慮した施設計画

LR1 エネルギー
建物の熱負荷抑制に配慮
太陽光発電パネルの設置

LR2 資源・マテリアル
教室の間仕切壁にLGS壁を使用
内装に比較的分別容易な仕上を使用

LR3 敷地外環境
日照、電波障害など周辺環境への配慮
施設利用者のための適切な自転車置場、駐車スペースの確保

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency （建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality （建築物の環境品質）、L: Load （建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction （建築物の環境負荷低減性）、BEE: Building Environmental Efficiency （建築物の環境効率）
■「ライフサイクルCO_2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO_2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
■$LCCO_2$の算定条件等については、「$LCCO_2$算定条件シート」を参照されたい